【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公開番号】特開2012-227077(P2012-227077A)
【公開日】平成24年11月15日(2012.11.15)
【年通号数】公開・登録公報2012-048
【出願番号】特願2011-95733(P2011-95733)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｈ　85/046　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　85/08　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　85/10　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　85/12　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　85/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｈ　85/046
Ｈ０１Ｈ　85/08
Ｈ０１Ｈ　85/10
Ｈ０１Ｈ　85/12
Ｈ０１Ｈ　85/06

【手続補正書】
【提出日】平成26年4月17日(2014.4.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
第１の変形例に係るヒューズエレメント（以下、第１ヒューズエレメント１８ａと記す）は、図５に示すように、第１端子接続部２４ａと第２端子接続部２４ｂとの間に、第１ヒューズ部３６Ａと第２ヒューズ３６Ｂとが中央の放熱部２４ｃを介して連続的に接続（直列接続）されて構成されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
上述の第１ヒューズエレメント１８ａ～第６ヒューズエレメント１８ｆにおける第１遮断部２６Ａと第２遮断部２６Ｂとを任意に組み合わせて新たなヒューズエレメントを作製してもよい。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基体上に導電膜が形成されて構成され、前記導電膜による複数の放熱部と複数の遮断部

とが一体的に連続形成されたヒューズエレメントを有する電力用ヒューズにおいて、
前記導電膜は、前記基体の表面に対する１回以上の印刷による印刷層にて構成され、
前記放熱部を構成する印刷層の積層数が、前記遮断部を構成する印刷層の積層数以上であることを特徴とする電力用ヒューズ。
【請求項２】
請求項１記載の電力用ヒューズにおいて、
前記遮断部は、複数の狭小部が並列に並べられて構成され、
複数の前記遮断部が直列に配置されて前記ヒューズエレメントが構成されていることを特徴とする電力用ヒューズ。
【請求項３】
請求項２記載の電力用ヒューズにおいて、
同じ形状の前記狭小部が並列に並べられて構成された前記遮断部を第１遮断部とし、
複数の前記第１遮断部が直列に配置されて構成された第１ヒューズ部と、
電流－溶断時間特性が前記第１ヒューズ部と異なる第２ヒューズ部とが同一の前記基体上において連続的に接続されて構成されていることを特徴とする電力用ヒューズ。
【請求項４】
請求項３記載の電力用ヒューズにおいて、
前記第２ヒューズ部は、前記第１ヒューズ部の前記第１遮断部とは、狭小部の形状、狭小部の幅、並列に並ぶ狭小部の数、印刷層の積層数のうち、少なくとも１つが異なる複数の第２遮断部が直列に配置されて構成されていることを特徴とする電力用ヒューズ。
【請求項５】
請求項４記載の電力用ヒューズにおいて、
前記第１ヒューズ部における前記第１遮断部の印刷層を構成する金属材料と、前記第２ヒューズ部における前記第２遮断部の印刷層を構成する金属材料とが異種のものであることを特徴とする電力用ヒューズ。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか１項に記載の電力用ヒューズにおいて、
少なくとも前記遮断部の表面に酸化防止膜が形成されていることを特徴とする電力用ヒューズ。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか１項に記載の電力用ヒューズにおいて、
少なくとも前記遮断部上にペースト状の消弧剤が印刷形成されていることを特徴とする電力用ヒューズ。